

【避難訓練（地震想定）】

令和7年9月1日（月）



毎年9月1日は「防災の日」に制定されており、本校でもこの日に合わせて地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

では、なぜ9月1日が防災の日に制定されているかというと、それは1923年9月1日に発生した関東大震災を由来としているのですが、日本赤十字社の調査（2023年8月）によると、このことを知らない国民の割合は約49%にもものぼり、若年層ほどその割合は高くなっているそうです。

しかし、毎年のように各地で発生する地震や豪雨といった自然災害に対して、防災意識の高揚と災害への備えを進めるためには、過去の災害から学ぶことが、今後ますます重要になってきます。

中学校としても、災害から自他の命を守るための防災教育の充実を図って参りたいと思います。

* 本来は運動場を避難場所として想定していますが、今回は猛暑による熱中症対策として、体育館を避難場所へと変更しました。急な変更にもかかわらず、生徒たちは指示をよく聞き、整然と避難行動をとることができていました。